

## 2022年度島根県立大学学生奨励金

### 島根県浜田市在住の高齢者の健康福祉及び生活基盤に関する情報把握の現状と考察研究 研究結果概要書

島根県立大学総合政策学部総合政策学科第3学年三戸口誉之

#### 1.はじめに

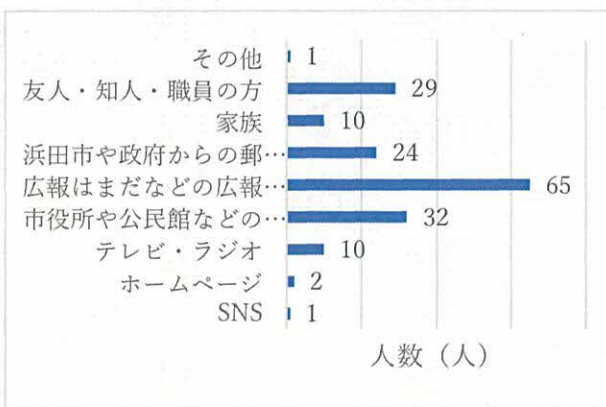
本研究では自治体が発信する健康・経済・暮らしに関する3項目の情報を浜田市在住の高齢者の方がどれくらい把握しているのか、またその情報源を明らかにし、今後どのような方法で情報を伝えるのが効果的かを検討した。

#### 2.方法

島根県浜田市在住の65歳以上の前期・後期を含む高齢者という条件の中から性別や家族構成などを問わず無作為に対象とした。

まず初めに浜田駅前での調査を実施したが、有効な結果があまり得られなかった。次に浜田市福祉協議会様にご協力を頂き、活動にご同行するという形で、(1)浜田公民館、(2)石見公民館後野分館、(3)浜田市総合福祉センター、(4)石見公民館細谷分館、(5)石見公民館佐野分館、(6)長浜公民館、(7)大麻公民館、(8)国府まちづくりセンター、(9)国府公民館有福分館の計9か所で調査を行った。

#### 3.結果



健康福祉及び生活基盤の情報源を調査した結果、SNSが1名、ホームページが2名、テレビ・ラジオが10名、市役所や公民館などの掲示物が32名、広報はまだなどの広報誌・雑誌が65名、浜田市や政府からの郵便物が24名、家族が10名、友人・知人・職員の方が29名、その他が1名（：元から知っていた）という結果であった。

本文中：第4図 情報源の結果

#### 4.結論

今回の調査では高い割合で情報が把握されていることが分かった。

また、紙ベースの文面から情報を得ている方が非常に多かったことから、より重要な情報を発信する場合、広報誌・雑誌に掲載するのが最適であると考え得る。